

■支部活動の報告

① 神戸支部 ZOOM 体験会のご案内

昨年、神戸支部で何回か開催しました WEB 会議システム「ZOOM」の体験会を以下の日程で開催致します。
既に、体験済みの方も含め多くの方々の参加をお待ちしております。事前の登録は不要です。体験会当日、ホストから後日提示される URL に直接アクセスしてください。

<https://www.facebook.com/groups/kourokai>

【Zoom 体験会開催のご案内】を参照ください。

また、1月23日(土)に神戸支部では新年会を開催予定ですが、この時の模様も「ZOOM」を使ってライブ配信する予定ですので、当日諸事情によりご参加出来ない方で新年会の様子を見てみようという方は是非体験会にご参加ください。なお、体験会へのアクセス方法は後日、ホストの神戸支部・41期・三和田浩次さんよりご連絡頂きますが、体験会に参加される際は、柑芦会会員、和歌山大学の先生、現役学生さんはそれぞれ以下の項目をパソコン、スマホの入力画面に入力してください。

- ・柑芦会会員:所属支部、卒業期、氏名(ローマ字は不可)
- ・和歌山大学の先生:学部、氏名(ローマ字は不可)
- ・現役学生さん:学部、学年、氏名(ローマ字は不可)

体験会日程

①1月10日(日) 13:30~14:30(1時間)

②1月17日(日) 13:30~14:30(1時間)

以上よろしく願いいたします。 転載：神戸支部 平林氏

◆和歌山大学 ニュース

①第11回香村賞ビジネスプランコンテスト審査会が開催されました。

12月18日(金)に、第11回香村賞ビジネスプランコンテスト審査会が開催されました。ビジネスアイデア部門に12件、企業実践部門に1件の応募があり、書類審査と最終(プレゼンテーション)審査の結果、以下の方が受賞されました。

※詳しくはこちら <http://www.wakayama-u.ac.jp/cijr/news/2020122100042/>

②【岸和田サテライト】1/20(水) 第123回わだいな浪切サロンのお知らせ

第123回わだいな浪切サロンは、観光学部の北村元成教授による講演です。この講演では、地域をブランドとして捉え、地域の価値やアイデンティティについて考えます。ブランド力のある街とない街の差はどこにあるのか、特産品をブランド化するために必要なことなど具体的な事例をとおして解説していきます。

テーマ 「特産品のブランドデザイン」

日時 2021年1月20日(水曜日)19時00分~20時30分

講師 和歌山大学観光学部 教授 北村 元成

講演は Zoom ウェビナー を使用したオンライン公開講座(ライブ配信)です。

事前に登録フォームからの登録が必要です。

※詳しくはこちら <https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2021010800044/>

③ 観光・宇宙天文教育研究グループシンポジウム in 醍醐寺「観光からみた宇宙5」

和歌山大学国際観光学研究センターでは、宇宙・天文観光の研究グループを中心に、宇宙開発や宇宙旅行に関する政策、世界で展開しているアストロ・ツーリズム、さらに、それを支える宇宙教育と天文教育についてのシンポジウムを毎年度開催しています。このたび、京都大学 宇宙総合学研究ユニット及び醍醐寺と共催でシンポジウムを開催することとなりましたのでお知らせします(要事前申込。1/20(水)17時まで)

※詳しくはこちら <https://www.facebook.com/events/242191900821412/>

④ シンポジウム「持続可能な地域のつくり方～江戸時代に学ぶ未来社会のデザイン～」

和歌山市や和歌山市のSDGs推進ネットワークと共催でオンラインシンポジウム「持続可能な地域のつくり方～江戸時代に学ぶ未来社会のデザイン～」(Zoom ウェビナー)を開催します。

和歌山大学からは、恵下理事(研究・産学連携担当)が登壇します。どなたでもご参加いただけますので、ぜひご覧ください。

開催日 令和3(2021)年1月19日(火曜日) 午後7時30分から午後9時00分まで

開催場所 オンライン講演会(Zoom ウェビナー)

※詳しくはこちら <http://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1029316/1033072.html>

⑤ 大賞受賞！「第4回和歌山県データ利活用コンペティション」大学生部門(伊藤ゼミ)

12月19日(土)、和歌山県データ利活用推進センターにて第4回和歌山県データ利活用コンペティション最終審査会が開催されました。本学部伊藤ゼミから、大学生部門で発表「漕いで！学んで！わかまつ輪！～サイクリングツーリズム×和歌祭で和歌山市を活性化～」(本学部3回生:川村亮輔、石丸日和、榎本皐、松田優里、マリアマサブリナ、山本陽子)を行い、全40件の応募の中から「大賞」を受賞しました。

※詳しくはこちら <https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/news/2020122100011/>

《現役生・卒業生活動》

■ クロスオーバーホルン奏者 東谷慶太さん(教育30期) 音楽番組を無料配信中♪



KEITA MUSIC ROOM 第2シリーズ

第6回 HEARTFUL MEMORY 作曲 東谷慶太

2020年9月21日 かながわアートホール 収録

HORN 東谷慶太 PIANO 鬼武みゆき

<https://www.youtube.com/user/PopCorneProject>

東谷慶太オフィシャルサイト

<https://keita-higashitani.com>

令和三年一月一日発行
一月号
誌

芦火



今月の表紙

初荷

第683号

2021. 1

令和3年1月1日 柑芦同人誌 芦 火 第683号

清記を終えて 2

683号

- 純一さんの散歩道の自然。今月はススキ。それも周辺のススキとある。よく見る芒以外にパンバグラス。私も最初見た時は驚いた。大きく掃除道具のようにも見えた。晩秋の日本。芦火は新年号となった。「切り捨て御免」も御破算で新しい志匠を迎える。令和三年が平和で明るい年となる様。毎年のごとく祈ります。昨年はコロナに明け暮れて、まだ終息が見えない。治療法の確立、ワクチンの登場が切に望まれます。
- 芦火は四月に吟行を予定している。幹事役の温州さんの「苦勞が続いている。是非落ち着いて発行出来ることを祈ります。」
- また令和三年末には694号となります。令和4年の初めには第14句集の準備をすることになります。心づもりをお願いします。
- 米国の新大統領が就任して新しい米国の外交が始まります。お隣の中国は共産党独裁の色合いを深め、相いれない立場の対立に日本も巻き込まれかねない一年となりそうです。
- 菅首相は日本のデジタル社会実現とグリーン社会実現を所信表明してスタートしました。国民も政府に頼らず、この国になにが出来たかを考える時代になって来たようです。

◎本高得点者

24点 としを 21点 純一 15点 温州 14点 史浩 13点 惠吾

12点 善富 顕一郎 11点 安男 10点 草炎

◎本身高得点句

- 8点 票役もやけに華やく菊人形
- 7点 身に沁むや寺町を行く杖の音
- 6点 大まねき新酒で伸ばす墨の色
- 6点 かや葺きの軒に一竿懸け大根
- 5点 遍路の村権田彩る稲穂かな
- 5点 花こぼれ地上に星塵金木犀
- 5点 天高し連れ添う二人喜寿寿車
- 5点 社舞舞ふ越路吹雪かモンタンか
- 5点 情念の色斯くありや虫珠沙華
- 5点 蟻蜂の彼奴に似たる面構へ

惜しい！4点句 川船の〓としを、 マスクして〓顕一郎、 老ゆるとは〓純一
独り言〓としを、 柊の〓温州、 幸不幸〓としを、 蓮根ほり終へ〓純一

女号赤匠「一切捨て御免」担当 〓としを (新年度になりました。真打登場で、としをさんです。全句に点が入ったのも、としをさん。6句に点は顕一郎、安男、純一さんです)。

兼題 初荷 (初荷馬、初荷船) 問屋 商店では正月二日朝、トラック、船などに商品

積み上げ「初荷」と染め抜いた旗や紅白の幕で飾り立てて得意先に届けた。若衆が店の揃いの法被を着て乗り込みトラックに初荷の旗をなびかせ行き交う景はなかなか威勢がよく目出度い風景である。

- ・おとなしく飾らせている初荷馬 高浜虚子
- ・荒縄の男結びの初荷来る 藤川喜子
- ・寝馬を飾り立てたる初荷かな 正岡子規
- ・一湾の目を曳統の初荷船 木内彰志
- ・自動下ア一停めて初荷の手打ち式 篠田悦子
- ・初荷吊る位置に起重機向きかえる 関口成生

創刊、昭和38年、600号以上を発行。会員約20名が毎月投句、選句。上手下手を問わず俳句を楽しんでいます。紙と鉛筆と歳時記で、花鳥風月を楽しんでみてはいかがですか？

発行人： 山下勝様 経済学部 14期 yama723@nifty.com

「芦火」連絡先：〒862-0954 熊本市中央区神水 1-7-2-301 TEL :096-382-4767

◆和歌山関連 ニュース

① 和歌山梅酒キャンペーン

令和2年9月7日付けで「和歌山梅酒」が、酒類の地理的表示（GI：Geographical Indication）の指定を受けたことを契機として、次のとおり首都圏PRキャンペーンを実施します。一連のキャンペーンを通じて、和歌山梅酒をはじめとする和歌山県産品の魅力を積極的にPRしてまいります。

＜わかやま紀州館フェア＞

期間：令和2年11月1日（日）～令和3年1月31日（日）

場所：わかやま紀州館 <http://www.kishukan.com/>

※詳しくはこちら

http://cms.office.pref.wakayama.lg.jp/temp/071700/7/index_d/fil/wakayamaumeshu.pdf

② 和歌山大学観光学部がコラボして、中・高・大連携で世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」を学ぶ

上野さんは若い世代に世界農業遺産を学んでもらい、同世代や次世代につないでいってもらおうとまちキャンプロジェクトに取り組んでいる。昨年度からは和歌山大学生が参加しており、みなべ町で見て、聞いて、体験して梅システムについて学んでいる。今回は、地元の若い世代を対象に学習機会を作ろうと、中学、高校、大学の連携を発案。南部高校と高城中学校生が参加することになり、新型コロナ禍でも実践できるようにとすべてオンラインで実施することになった。

※詳しくはこちら <https://news.yahoo.co.jp/articles/4b59a73ed9e797be78fa1a5bdef5220f7b3f54cc>

③ 宇宙へのアプローチ

和歌山大学のホームページ、研究者総覧の研究テーマ欄に書かれているのは「防災・減災への宇宙利用」。そのスタートはちょうど10年前、東日本大震災だ。「宇宙関係者は皆さん、どこかで責任を感じている面があるんじゃないでしょうか？」西松建設勤務時、小惑星探査機「はやぶさ」や月探査計画「かぐや」にカメラメンバーとして参加。その後、宇宙開発事業団やJAXA（宇宙航空研究開発機構）の研究員などを経て、秋田大学勤務時代は学生教育用ロケット打ち上げ場の整備に尽力した。

※詳しくはこちら https://www.nwn.jp/news/210103_approach/

④ 貴重なニホンオオカミの剥製展示

海南市の県立自然博物館は、世界に4体しかないニホンオオカミの剥製のうちの1体を和歌山大学から預かっていて、毎年、この時期に期間限定で展示しています。剥製は明治37年から38年にかけて奈良県南部で捕獲された個体で、体長は1メートルほどと、現存するニホンオオカミの剥製の中では最も大きいものだということで、ぴんと立った三角形の耳が特徴です。

※詳しくはこちら <https://www3.nhk.or.jp/kansai-news/20210105/2000039399.html>

■東京発！わかやま情報は、和歌山県東京事務所をクリック♪

東京を中心とした首都圏での『和歌山』に関連した情報を発信しています。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/tokyo/index.html>

文・編 47期 中川貴照

柑芦会東京支部フェイスブック <https://www.facebook.com/groups/325065827574556/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-17-14 新宿シティ源ビル5F 柑芦会東京支部

柑芦会専用電話:03-3366-3680 平日9:00～18:00 土曜日:9:00～15:00

共用FAX:03-3369-3469 柑芦会東京支部宛と記載下さい。 e-mail: tokyo@kourokai.com